

お客様各位	製品不具合情報	発行日 2015年1月30日
		発行 No. 63-3-Z0065
		日本パルスモーター株式会社 開発本部

1. 不具合対象品

Motionnet 補間機能付きモータ制御 L S I G 9 1 0 3、G 9 1 0 3 A、G 9 1 0 3 B

2. 不具合内容

直線補間、円弧補間動作において、E L 停止方法を減速停止 (RENV1. ELM='1') にしておくと、E L 信号が ON した時に減速を開始しますが、減速完了後も F L 速度で動作し続けてしまう。
また、減速後の F L 速度での動作中は停止コマンドを受け付けません。

3. 不具合詳細

直線補間、円弧補間動作において、下記の異常停止要因を有効にし、かつ、停止方法を減速停止に設定した場合に、減速完了時に停止せず、F L 速度で移動し続けてしまう事が判明しました。

異常停止要因	有効設定	減速停止の設定
+ E L	なし (常に有効)	RENV1. ELM=1
- E L	"	"
+ソフトリミット	RENV4. C1S2~0=110	RENV4. C1D1~0 =10
-ソフトリミット	RENV4. C2S2~0=110	RENV4. C2D1~0 =10
コンパレータ 1 の条件成立時	RENV4. C1S2~0=001~101	RENV4. C1D1~0 =10
コンパレータ 2 の条件成立時	RENV4. C2S2~0=001~101	RENV4. C2D1~0 =10
コンパレータ 3 の条件成立時	RENV4. C3S3~0=0001~0101	RENV4. C3D1~0 =10
A L M	なし (常に有効)	RENV1. ALMM=1
S T P	RMD. MSPE=1	RENV1. STPM=1
ストップ同報コマンド	"	"

減速後の F L 速度での異常動作中には、即停止コマンド (0049h)、減速停止コマンド (004Ah)、非常停止コマンド (0005h) は無視され、ソフトウェアリセットコマンド (0004h) だけが停止可能なコマンドです。

なお、RMD. MOD 設定を 00h など補間動作以外に変更しても、その時点で停止します。

注意. 下記のどちらかの場合には不具合は発生しません。

- ①停止方法を即停止に設定した補間動作。
- ②補間動作以外の場合。(停止方法には無関係)

4. 不具合回避方法

補間動作 (RMD. MOD=60h~7Dh) をご使用される場合には、異常停止方法を即停止に設定してください。

5. 製品改版予定

本不具合を修正するため、製品を改版いたします。
今後の予定に関しましては、弊社営業までお問い合わせください。

以上、ご査収のほど、宜しく願いいたします。